

文化表現学科  
観光実務士課程

2024年4月1日 更新

科目名	観光学総論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	観光は、物販売り上げ、雇用など地域を元気にし、経済効果が大き、人口減少の中で観光を起爆剤にして地域を盛り上げたいなどの思いがある。観光の歴史、産業としての観光、宿泊業や交通、旅行会社などの現状、そうした業界がどのような人材を求めているかなどを学ぶ。							
到達目標	1. 観光全般について、その歴史、経済とのかかわりなどを総合的に説明できる。 2. 観光に関連する産業の構造について総合的、多面的に理解している。 3. 日本の観光に不可欠のインバウンド（訪日外国人観光客）への取り組みについて、語る事ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1.2.3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと	復習	授業の狙いと意義についてまとめる	
	第2回	内容	観光とは何か。観光が重視される背景は何か	予習	なぜ、観光が重視されるのか調べておく	復習	授業内容を整理し、観光の役割をまとめておく	
	第3回	内容	江戸時代のお伊勢参りから始まる観光の歴史	予習	江戸時代からの観光の歴史を調べておく	復習	近年の温泉ブームを含む観光の歴史をまとめる	
	第4回	内容	観光と経済 産業としての観光業とは	予習	産業界における観光業について調べておく	復習	観光と他産業との比較をまとめておく	
	第5回	内容	観光における日本の強みとは何か。温泉やおもてなし。	予習	おもてなし文化など日本観光強みを調べておく	復習	自分なりの日本の観光の強みをまとめておく	
	第6回	内容	観光大国といわれる外国における観光の位置付け	予習	フランスなど観光立国について調べておく	復習	授業に基づき海外の観光業の現状をまとめる	
	第7回	内容	観光産業① 宿泊業からみた観光	予習	コロナ禍対応を含め宿泊業について調べておく	復習	授業に基づき宿泊業の課題をまとめておく	
	第8回	内容	観光産業② 交通事業者＝鉄道、航空。旅行会社	予習	交通、旅行会社について調べておく	復習	交通、旅行会社の課題をまとめておく	
	第9回	内容	観光産業③ テーマパークと遊園地 イベントとの重複	予習	テーマパークと遊園地の現状を調べておく	復習	TDLがなぜ人気なのかなどを考えてみる	
	第10回	内容	コロナ禍後で戻ってきたインバウンド	予習	国、年ごとのインバウンドの推移を調べておく	復習	インバウンドがなぜ重要かまとめておく	
	第11回	内容	日本人と海外旅行。海外旅行の推移。	予習	日本人の海外旅行の変遷について調べておく	復習	日本人の海外旅行の今後についてまとめておく	
	第12回	内容	観光と情報発信 メディアから SNS まで	予習	観光にとって情報発信とは何かを調べておく	復習	ガイドブックから SNS への変化をまとめておく	
	第13回	内容	地方創生と観光	予習	自治体の観光の取り組みを調べておく	復習	観光で成功している地域をまとめておく	
	第14回	内容	観光と IT 化 人手不足対応の切り札となるか	予習	IT 化は人手不足解消につながるかを調べておく	復習	観光分野の IT 化の成功事例をまとめておく	
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく	復習	資料をもとに発表する	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ 、する／（○）しない） 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	使用しない。必要に応じ資料配布、ウェブの関連サイトを紹介する							
参考文献	『令和5年版 観光白書』 観光庁編。『ディズニーランドの秘密』 有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』 よみうりランド、神崎公一編 中央公論事業出版社							
補足事項	課題作文は毎回提出してください。予習、復習には観光地や地方自治体のウェブサイトを活用してください。							

科目名	観光地理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3221		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	国内外の観光地の地理を把握し、その特徴、なぜ人気となっているか、課題を総合的に理解できる授業とする。日本人が海外旅行をする場合、外国人観光客が日本旅行をする双方のケースで、交通・移動・宿泊などの現状と課題について学ぶ。							
到達目標	1. 国内外の観光地の立地などを理解することで、地理的な知識を明らかにできる。 2. 観光地の歴史、地域とのつながり、文化などについて説明できる。 3. 観光・旅行業界で戦力となる人材に必要な、地理的知識をアピールできる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1.2.3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 観光地理学とは何か、	予習	シラバスを読んでおくこと	復習	授業の狙いと意義についてまとめる	
	第2回	内容	地域観光と交通機関の役割、	予習	交通の発展と観光の関係を調べておく	復習	地域にとっての交通の重要性をまとめる	
	第3回	内容	日本① 東京、大阪などの都市観光の魅力とは	予習	東京や大阪の観光地としての魅力を調べておく	復習	大都市の利便性と課題についてまとめる	
	第4回	内容	日本② 地方の観光地の特色、特に温泉地について	予習	地方の有名な観光地について調べておく	復習	遠隔地の観光地は不利か有利かをまとめる	
	第5回	内容	中国① 北京、上海など大都市の魅力とは	予習	中国の代表的な大都市について調べておく	復習	中国大都市の魅力についてまとめる	
	第6回	内容	中国② シルクロード、三国志の舞台など歴史的名所	予習	人気の中国の観光地について調べておく	復習	日本とこれらの地域の関係をまとめる	
	第7回	内容	韓国、台湾などの観光地の特色	予習	各地域の代表的観光地について調べておく	復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる	
	第8回	内容	東南アジア タイ、ベトナム、マレーシアなど	予習	東南アジア各国の観光について調べておく	復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめておく	
	第9回	内容	聖地（アニメなど）と称される観光地について	予習	アニメツーリズムについて調べておく	復習	全国のアニメの聖地についてまとめる	
	第10回	内容	アメリカ① 大都市 ニューヨーク、ロサンゼルスなど	予習	アメリカ東部と西部について調べておくこと	復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる	
	第11回	内容	アメリカ② 大自然、国立公園	予習	アメリカの自然について調べておくこと	復習	アメリカの国立公園の人気についてまとめる	
	第12回	内容	カナダ 環境重視のカナダの観光とは	予習	カナダの代表的な観光地について調べておく	復習	カナダと自然、都市についてまとめる	
	第13回	内容	ヨーロッパ各国の地理的特色と観光	予習	英仏独伊などの観光について調べておく	復習	日本とこの地域の関係をまとめる	
	第14回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	1-6回の講義の発表資料を作成しておく	復習	ディスカッションした内容を整理しておく	
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	7-13回の講義の発表資料を作成しておく	復習	ディスカッションした内容を整理しておく	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	使用しない。必要に応じて資料を配布する。関連ウェブサイトを紹介する。							
参考文献	『令和5年版 観光白書』（観光庁編） 世界地図帳（出版社はどこでも可）							
補足事項	課題作文（200字以上）は毎回提出する。取り上げる地域ごとの地図を持参すること。ウェブサイトでも可。							

科目名	実用英語		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	TOS3212		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。 TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。 また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。							
到達目標	1. 英語の基礎力を身につけている。(語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる) 2. ビジネス英語における基本的なコミュニケーションをとることができる。 3. ビジネス英語の文章で大意を理解することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて)	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	TOEIC の試験概要について確認する			
	第2回	内容	Unit 1 Shopping (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく			
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える			
	第3回	内容	Unit 1 Shopping (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく			
				復習	「名詞」について学んだことを理解する			
	第4回	内容	Unit 2 Dining Out (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく			
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える			
	第5回	内容	Unit 2 Dining Out (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく			
				復習	「代名詞」について学んだことを理解する			
	第6回	内容	Unit 3 Daily Life (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく			
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える			
	第7回	内容	Unit 3 Daily Life (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく			
				復習	「形容詞」について学んだことを理解する			
	第8回	内容	Unit 4 Travel (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく			
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える			
第9回	内容	Unit 4 Travel (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
			復習	「副詞」について学んだことを理解する				
第10回	内容	Unit 5 Entertainment (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
			復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
第11回	内容	Unit 5 Entertainment (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
			復習	「時制 1」について学んだことを理解する				
第12回	内容	Unit 6 News & Media (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
			復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
第13回	内容	Unit 6 News & Media (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
			復習	「時制 2」について学んだことを理解する				
第14回	内容	Unit 7 Housing (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
			復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
第15回	内容	Unit 7 Housing (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
			復習	「主語と動詞」について学んだことを理解する				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回実施する英単語の小テストに対し採点・返却・解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（70%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	『First Try for The TOEIC L&R Test』(Robert Hickling、金星堂)							
参考文献	なし（必要な際はプリント等を配布する。）							
補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。							

科目名	イベント・プランニング	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	FAS3212	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	オリンピック、サッカーW杯といった国際大会、万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などだ。イベントの歴史を学ぶとともに、近年、景気回復の切り札として注目される観光を中心にイベントについて企画の立て方やPRの具体的手法などを学ぶ。						
到達目標	1. 立案から開催までイベント成功手法について理解し、説明できる 2. 身近なイベントについて企画立案をして発表することができる 3. 観光関連のイベントについて理解し、説明できる						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( 2.3 )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと	復習	授業の狙いと意義について理解する
	第2回	内容	イベント開催の狙いと種類、嵐のツアーから学ぶ	予習	イベントとは何か、種類について調べておく	復習	嵐のツアーの効果について理解する
	第3回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B級グルメなどの背景	予習	観光振興とイベントの関係性を調べておく	復習	具体的事例をもとに観光イベントを理解する
	第4回	内容	観光業の実態。集客の切り札としてのイベント	予習	観光業の実態について調べておく	復習	観光関連イベントの重要性を理解する
	第5回	内容	ファンツーリズムとイベント 嵐、韓流ドラマの影響	予習	ファンツーリズムについて調べておく	復習	ファンツーリズムの実態を理解する
	第6回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニング	予習	ロケ誘致について調べおく	復習	ロケ誘致がいかに効果であるかを理解する
	第7回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致	予習	国際的イベントについて調べておく	復習	国際的イベントの効果について理解する
	第8回	内容	7回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく	復習	プレゼンをもとに問題点を検討する
	第9回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく	復習	レジャー施設のイベントの重要性を理解する
	第10回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例	予習	観光地、温泉地のイベントについて調べておく	復習	上記イベントの成功の理由を理解する
	第11回	内容	インバウンド向けイベント・プランニング	予習	インバウンド向けのイベントを調べておく	復習	上記イベントの成功の理由を理解する
	第12回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画	予習	交通機関のイベントについて調べておく	復習	交通機関のイベント企画を理解する
	第13回	内容	デジタルによるイベント効果、オンラインイベント	予習	オンラインイベントなどについて調べておく	復習	オンラインイベントの効果と課題を理解する
	第14回	内容	イベントの課題、集客失敗と地元への影響(ゴミ、渋滞)	予習	イベントの課題について調べておく	復習	課題解決について考え、理解する
	第15回	内容	14回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく	復習	プレゼンをもとに問題点を検討する
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授Googleクラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(40%)、作品・発表(30%)、授業態度【積極的発言、出席状況】(30%)						
教科書	特になし。必要に応じてプリントを配布する。関連ウェブサイトを紹介する。						
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会						
補足事項	課題作文(200字以上)は社会人になっても文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。						

科目名	観光事業論	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3217	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	新型コロナウイルス感染症により、産業としての弱さ表面化した観光業。一方で、旅行・観光は今後も有望な分野だ。それを担う観光事業の課題、訪日外国人対策などを総合的に理解し、説明できるようにする。旅行の変化(団体から個人へ)にどのように対応しているかを学ぶ。						
到達目標	1. 観光業の成り立ち、規模など、さらに課題と将来性を含め説明できるようにする。 2. 日本の観光に何が必要かについて、訪日外国人対策インバウンド対策を含め説明できるようにする。 3. 新型コロナウイルス感染症に対する観光業の対応などに関し、自分なりの意見を言えるようにする。						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( 1.2.3 )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス。本講義の全体像	予習	シラバスを読み、講義の全体像を理解しておく	復習	自分が何を学ぶかをまとめておく
	第2回	内容	観光事業の歴史、規模、将来像	予習	観光事業とは何かを考えておく	復習	旅行会社、宿泊業の歴史などをまとめておく
	第3回	内容	一泊二食、日本の宿泊業の特色	予習	日本旅館ならではの特色を調べておく	復習	これからの宿泊業についてまとめておく
	第4回	内容	団体旅行から個人旅行への推移と旅行業界	予習	旅行形態の推移について調べておく	復習	個人旅行、ひとり旅についてまとめておく
	第5回	内容	若者の旅離れとシニアの余暇の使い方としての旅	予習	若者とシニアの旅について調べておく	復習	若者とシニアの旅の将来についてまとめておく
	第6回	内容	観光事業とデフレ 格安旅行は続くのか	予習	宿泊費や交通費の格安化について調べておく	復習	なぜ、格安旅行が増えたのかをまとめておく
	第7回	内容	くまモンなど「ゆるキャラ」、B級グルメと観光業界	予習	「ゆるキャラ」、B級グルメについて調べておく	復習	集客と「ゆるキャラ」の関係をまとめておく
	第8回	内容	観光事業と鉄道、航空などの交通機関の役割	予習	交通機関の観光重視の狙いを調べておく	復習	交通機関のこれからの経営戦略をまとめておく
	第9回	内容	観光事業と車、旅先での移動、二次交通問題	予習	旅の目的地からの移動について調べておく	復習	二次交通がなぜ問題となるかをまとめておく
	第10回	内容	観光事業とインバウンド 富裕層対策、地方への回遊	予習	観光における富裕層とは何かを調べておく	復習	富裕層対策の重要性をまとめておく
	第11回	内容	なぜ地方で観光が重視されるか、	予習	コロナ禍での観光業界支援を調べておく	復習	GO TO トラベルの効果などをまとめておく
	第12回	内容	旅行のネット予約と旅行会社、	予習	ネット予約の現状を調べておく	復習	ネット予約の問題点をまとめておく
	第13回	内容	休みが少なければ旅行に行けない。観光事業と日本の休暇	予習	日本と欧米の休暇制度を調べておく	復習	観光にとって休暇の持つ意味をまとめておく
	第14回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	1-7回の講義から発表資料を作成しておく	復習	ディスカッションした内容をまとめておく
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	8-13回の講義から発表資料を作成しておく	復習	ディスカッションした内容をまとめておく
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験( %)、レポート・課題( 40 %)、作品・発表( 40 %)、実技( %)、授業態度【積極的参加】(20%)						
教科書	使用しない。必要に応じ、資料を配布する。関連サイトを紹介する。						
参考文献	『新・観光立国論』(デービッド・アトキンソン、東洋経済新報社) 『令和5年版観光白書』(観光庁編)						
補足事項	課題作文(200字以上)は必ず提出する。事前に次回講義の概要を知らせるので、ウェブなどを活用して調べてきてください。						

科目名	環境ツーリズム論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 かんざき こういち 神崎 公一
ナバリングコード	TOS3223		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	地球温暖化や海洋汚染、プラスチックゴミ問題などが世界各国の重要な課題となっている。このような環境問題は観光とも大きく関連する。環境を守りながら持続的な観光振興を図るための環境（エコ）ツーリズムに功事例や問題点や観光と環境は両立が両立は可能かを考える授業とする。						
到達目標	1. 近年、注目されている環境（エコ）ツーリズムの重要性と課題を理解できるようにする。 2. 環境ツーリズムの実践例を知ることによって、課題などを説明できるようにする。 3. 観光と環境の両立が可能かについて、自分の意見をまとめられる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションと授業の全体像	予習	シラバスを読み、授業の意義を考えること		
				復習	自分なりに何を学ぶかをまとめる		
	第2回	内容	環境ツーリズムとは何か。なぜ今、注目されるのか	予習	環境ツーリズムが注目される理由を調べる		
				復習	地球温暖化など観光との関連性をまとめる		
	第3回	内容	観光＝経済と環境は両立するのか	予習	経済優先＝儲けと環境の関係を調べておく		
				復習	経済と環境の両立事例をまとめる		
	第4回	内容	環境ツーリズムと日本エコツーリズム協会の活動	予習	日本エコツーリズム協会の活動を調べる		
				復習	同協会加盟の団体の活動についてまとめる		
	第5回	内容	環境ツーリズムの実践例① 里山・村落	予習	埼玉県飯能の環境ツーリズムについて調べる		
				復習	全国の環境ツーリズムについてまとめる		
	第6回	内容	環境ツーリズムの実践例② 温泉	予習	岐阜県下呂温泉の環境ツーリズムに関し調べる		
				復習	温泉地の環境ツーリズムについてまとめる		
	第7回	内容	環境ツーリズムの実践例③ 世界遺産	予習	岩見銀山、佐渡などの環境と観光を調べておく		
				復習	世界遺産と環境問題についてまとめる		
	第8回	内容	インバウンドと環境ツーリズム	予習	外国人の環境問題の関心の高さを調べておく		
				復習	外国人対象の環境ツーリズムをまとめる		
第9回	内容	海外の環境ツーリズム① カナダ	予習	カナダの観光と環境の関連を調べておく			
			復習	カナダ国民と環境、観光の関係をまとめる			
第10回	内容	海外の環境ツーリズム② ハワイ	予習	観光の島、ハワイについて調べておく			
			復習	ハワイ観光の環境対策をまとめる			
第11回	内容	旅行業界と環境ツーリズム	予習	環境ツーリズムと旅行業界の関係を調べておく			
			復習	環境ツーリズムが不可欠な理由をまとめる			
第12回	内容	企業が取り組む環境ツーリズム	予習	JAL, JR などの環境への取り組みを調べておく			
			復習	観光産業が環境に配慮する理由をまとめておく			
第13回	内容	旅行者自身が行う環境に優しい旅とは	予習	環境に優しい旅はどのようなものか調べておく			
			復習	環境に優しい旅の具体的事例をまとめておく			
第14回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	1-7回に講義について発表資料を作っておく			
			復習	ディスカッションした内容を整理する			
第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	8-13回の講義について発表資料を作っておく			
			復習	ディスカッションした内容を整理する			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 40 %）、作品・発表（ 30 %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（30%）						
教科書	使用しない。必要に応じ資料を配布する。関連ウェブサイトを紹介する						
参考文献	『観光の力』（半藤将代、日経ナショナルジオグラフィック社） 『日本エコツアー・ガイドブック』（海津ゆりえ、岩波書店） 『エコツーリズムの世紀へ』（エコツーリズム推進協議会）						
補足事項	課題作文（200字以上）は毎回提出してください。文章力向上は社会人になっても必ず役に立つことを理解してください。						

科目名	エアライン実務		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナバリングコード	TOS3216		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	エアラインで働くキャビンアテンダント及び地上スタッフの仕事への取り組み方を学びます。接客業はじめとする仕事の現場で求められる、知識・適正と能力(美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心)を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。							
到達目標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( 2, 3 )							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ・CAの仕事とその魅力について CAの仕事研究			予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく	
					復習	この科目を通して習得・体得することを理解する		
	第2回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のマナー			予習	マナーの必要性を自分の言葉でまとめる	
					復習	日常生活のマナーを実践しなくなった理由をまとめる		
	第3回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のホスピタリティ			予習	ホスピタリティに溢れた行動を書き出す	
					復習	ホスピタリティに溢れた行動ができるようになるか考える		
	第4回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成① 自己理解と社会に求められる能力理解			予習	サービスとホスピタリティの言葉の意味を調べる	
					復習	日々の行動から自己理解を深める		
	第5回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成② 自己表現力の養成① 身だしなみ・立ち居振る舞い			予習	好感の持たれる身だしなみについて調べる	
					復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する		
	第6回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成③ 自己表現力の養成②好感を与える言葉づかい・表現法			予習	言葉遣いの練習問題に取り組む	
					復習	習得した好印象の接客対応を身につける		
	第7回	内容	エアライン研究① ・国内航空会社・外資系航空会社の比較			予習	興味ある航空会社を調べる	
					復習	発表に向けて航空会社の特徴をまとめる		
	第8回	内容	エアライン研究② ・国内航空会社・外資系航空会社の比較発表			予習	調べた航空会社のプレゼンテーション資料をまとめる	
					復習	他者の発表を聞いたレポートをまとめる		
第9回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成① ・機内サービスを実践する お食事サービス			予習	機内のお食事サービスについて調べる		
				復習	お客様対応の実践から、日々の目配りを意識する			
第10回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成② ・グラウンドホステスの仕事研究			予習	グラウンドホステスの仕事について調べる		
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する			
第11回	内容	チームの中でホスピタリティを発揮する ・チームワークの重要性・必要な要素・チームビルディング			予習	チームワークとは何かを調べてまとめる		
				復習	習得したチームビルディングのスキルを実施する			
第12回	内容	エアライン適正開発 ・CAの仕事研究			予習	CAの仕事について調べる		
				復習	CAの立ち居振る舞いを実践する			
第13回	内容	ホスピタリティ・コミュニケーション ・ホスピタリティ溢れる自分づくり			予習	これまでホスピタリティに溢れる行動を実践してきたことをまとめる		
				復習	取り組みたいホスピタリティ行動について実践する			
第14回	内容	エアライン適正開発 ② ・機内アナウンス実践 (演習)			予習	機内アナウンスパターンの練習をしてくる		
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
第15回	内容	エアライン適正開発 ③ ・好印象な接客対応を体得する (演習)			予習	授業で習ったホスピタリティ		
				復習				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( )しない 成績評価の方法： レポート・課題(20%)、作品・発表(30%)、実技(30%)、授業態度【自主性・協調性】(20%)							
教科書	『書名』(著者名、出版社名)							
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 『月刊 エアステージ』(イカロス出版)							

補足事項

授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。

科目名	エアライン英会話		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナバリングコード	TOS3213		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 エアライン業務を想定し、ホスピタリティマインド溢れるお客様対応のフレーズを演習します。 簡単な英語インタビューの応答を練習し、英語での自己表現ができるようになります。							
到達目標	1. 英語での自己表現が、感情豊かにできる 2. 英語での質疑応答ができる 3. エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションが自主的にできる							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( 2, 3 )							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション Public Announcements (ウェルカムアナウンス)	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	エアラインでよく使われる用語と機内アナウンスの言い回しを覚える			
	第2回	内容	Finding seat (お客様をお座席にご案内する)	予習	機内のご案内用語の意味を調べてくる			
				復習	お客様のご案内の言葉をスムーズに言えるようにする			
	第3回	内容	Baggage in the aisle (お客様の手荷物の対応)	予習	お客様の手荷物に関わる単語の意味を調べる			
				復習	手荷物対応の場面を対応できるように練習する			
	第4回	内容	Before take off (離陸前の安全確認のやり取り)	予習	離陸前のお客様対応の専門用語の意味を調べてくる			
				復習	離陸前のご案内の会話をスムーズに言えるように練習する			
	第5回	内容	Before take off Champagne Service (離陸前のシャンパンサービス)	予習	離陸前の飲み物サービスにかかる単語の意味を調べてくる			
				復習	離陸前の飲み物対応をスムーズに言えるように練習する			
	第6回	内容	Welcome Announcement (離陸直後のウェルカムアナウンス)	予習	アナウンスで使われている単語の意味を調べてくる			
				復習	ウェルカムアナウンスをスムーズに言えるように練習する			
	第7回	内容	Liquor & Meal Service (お食事前のお飲み物サービス)	予習	機内サービスのお飲み物を英語で言えるようにする			
				復習	機内のお飲み物サービスの問答をスムーズに言えるように練習する			
	第8回	内容	Entrée Order (お食事サービス)	予習	お食事メニューに出てくる単語の意味を調べる			
				復習	ステーキの焼き加減をうかがうフレーズをスムーズに言えるように練習する			
第9回	内容	Special Meal (特別食のサービス)	予習	特別食の種類について調べてくる				
			復習	特別食の対応がスムーズにできるように練習する				
第10回	内容	Inflight Entertainment (機内のエンターテインメントサービス)	予習	機内のエンターテインメントサービスの種類について調べる				
			復習	エンターテインメントサービスの説明がスムーズに言えるように練習する				
第11回	内容	Children's Entertainment (お子様のエンターテインメントサービス)	予習	お子様用のエンターテインメントの種類を調べる				
			復習	お子様への応対をスムーズに言えるように練習する				
第12回	内容	Route Information (飛行ルートのご案内)	予習	指定された飛行ルートの観光案内ができるように調べる				
			復習	飛行ルートのご案内がスムーズにできるように練習する				
第13回	内容	In flight sales (機内販売)	予習	機内免税サービスの取り扱い商品を知る				
			復習	機内販売サービスをスムーズにご案内できるように練習する				
第14回	内容	Arrival Information アナウンス (到着のアナウンス)	予習	指定された現地の案内ができるように気候等について調べてくる				
			復習	到着の現地案内ができるように練習する				
第15回	内容	総仕上げ	予習	これまでに習ったアナウンスを発表できるように練習する				
			復習	習った英単語を再度学習する				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(20%)、作品・発表(30%)、実技(30%)、授業態度【自主性】(20%)							

教科書	『書名』（著者名、出版社名）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『月刊 エアステージ』（イカロス出版）
補足事項	授業で学んだ英単語を、旅行先や外国人との対話チャンスで活かしていく。

科目名	観光英会話		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
カンパリングコード	TOS3222		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	本授業では、海外からの顧客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目指した英会話を学ぶ。 近年のグローバル化の進展に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。							
到達目標	1. 外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる。 2. 観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている。 3. 外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( 1, 2, 4 )							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (授業概要説明、成績評価説明)	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する			
	第2回	内容	Unit 1. Transportation	予習	教科書の交通に関する語の意味とICカードについての説明文について調べておく			
				復習	交通についての会話文を音読する			
	第3回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予習	教科書のホテルでのチェックインに関する単語の意味を調べる			
				復習	ホテルでのチェックインの会話を音読する			
	第4回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	ホテルの施設に関する単語の意味を調べる			
				復習	ホテルの施設に関する会話を音読する			
	第5回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	道案内に関する単語の意味を調べる			
				復習	道案内の会話を音読する			
	第6回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	海外からのお客様に観光スポットを勧める際に使う単語の意味を調べる			
				復習	観光案内に関する会話を音読する			
	第7回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	日本の食事に関する単語の意味を調べる			
				復習	日本の食事の案内をする会話を音読する			
	第8回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	日本料理を説明する際に使う語句の意味を調べる			
				復習	日本料理の説明をする会話を音読する			
	第9回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする際の単語の意味を調べる			
				復習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする会話を音読する			
	第10回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	旅館でのマナーを説明する際に使う語句の意味を調べる			
				復習	旅館でのマナーを説明する文章を音読する			
	第11回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	日本の伝統文化を紹介する際に使う単語の意味を調べる			
				復習	日本の伝統文化を説明する会話を音読する			
	第12回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	日本の年間行事を紹介する際に使う単語を調べる			
				復習	日本の年間行事を説明する会話を音読する			
	第13回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	日本のお土産を紹介する際に使う単語の意味を調べる			
				復習	日本のお土産を説明する会話を音読する			
	第14回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	旅行中の病気について説明する際の単語の意味を調べる			
				復習	お客様が病気をされた際の会話を音読する			
	第15回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	クレームや問い合わせへの対応で使う単語の意味を調べる			
				復習	クレームに対応する際の会話を音読する			
予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	発言の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行う。また授業内に実施する小テストの採点・評価をして返却する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する／(○)しない 成績評価の方法： 授業内小テスト( 60 %)、授業内発表( 20 %)、授業態度【 積極的参加 】( 20 %)							
教科書	『Hospitality on the Scene』(上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂)							
参考文献	なし(必要の際はプリントを配布する。)							

補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。会話のクラスなので、積極的に英語を話すこと。
------	--

科目名	文化を訪ねる		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	CUL3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	京都の歴史、文化、伝統工芸等について、各自の学びたいテーマを設定し、12月初旬に実際に現地へ訪ねテーマに合わせて学習する。事前学習として、事前調査と行動計画の作成を行い、現地訪問後の事後学習として、学んだことを発表する。							
到達目標	1. 事前学習において、テーマの設定、オンラインでの事前調査、活動計画の作成ができる 2. 活動計画を滞りなく実施し、グループメンバーと円滑なコミュニケーションを取ることができる 3. 事後学習において、自身の学んだことを Power Point 等を利用して発表することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方を理解する			
	第2回	内容	グループ決め、テーマ設定	予習	テーマの候補を用意しておく			
				復習	テーマに合わせた訪問先を検討する			
	第3回	内容	テーマに合わせたオンライン調査	予習	テーマに合わせた訪問先の候補を用意しておく			
				復習	各訪問先への移動時間を整理する			
	第4回	内容	行動計画の作成	予習	オンライン調査の内容を整理しておく			
				復習	行動計画を作成し、提出する			
	第5回	内容	京都を歩くⅠ	予習	美化活動で訪れる場所を確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第6回	内容	京都を歩くⅠ-2	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第7回	内容	京都を歩くⅠ-3	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第8回	内容	京都を歩くⅡ	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
第9回	内容	京都を歩くⅡ-2	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第10回	内容	京都を歩くⅡ-3	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第11回	内容	京都を歩くⅢ	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第12回	内容	京都を歩くⅢ-2	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第13回	内容	京都を歩くⅢ-3	予習	当日の行動計画を改めて確認する				
			復習	入場拝観券やパンフレットを整理する				
第14回	内容	発表の準備	予習	実際に行動した記録を整理しておく				
			復習	発表資料を完成させ、提出する				
第15回	内容	発表	予習	発表の練習をする				
			復習	自身の発表の振り返りを行う				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	行動計画および発表について、口頭でコメントをお伝えします							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（35%）、作品・発表（35%）、授業態度【現地訪問】（30%）							
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します							
参考文献	指定しません。授業内で必要に応じて指示します							
補足事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは3日間の集中講義							

科目名	インターンシップ		単位数	2	授業時間数	90	担当教員 いとう あきよし 伊藤 明芳
ナバリンクコード	CAE3221		授業形態	実習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	本実習では、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力の基本を理解して身につけ、また、実際の現場での実習を通して職業の実際を理解することを目指します。これらの学びや体験により、働くことの意味や責任をより豊かに考えることができ、将来の職業選択に寄与すると考えられる。						
到達目標	1. 社会人として必要なマナーや作法の基礎を身につけている。 2. 社会人としてのコミュニケーション能力の基本が身についている。 3. 職業選択活動、就業における積極性を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科(2,3,4)						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション(インターンシップとは何か)	予習	インターンシップについて調べる。	復習	本実習の概要を理解する。
	第2回	内容	基本的なマナー①(心構え、言葉遣い、身だしなみ等)	予習	実習での必要なマナーについて考える。	復習	各マナーを整理する。
	第3回	内容	基本的なマナー②(電話のかけ方、受け方等)	予習	電話の応答について考える。	復習	電話応答について整理する。
	第4回	内容	インターンシップ実習受入企業・団体の業種、職業の調査	予習	実習先を考える。	復習	実習先の情報をまとめる。
	第5回	内容	書類の書き方、面接の受け方	予習	面接マナーについて考える。	復習	書類の書き方を復習する。
	第6回	内容	実習先の決定と申し込み	予習	実習先へ申し込みを準備。	復習	実際に実習先への連絡を実施する。
	第7回	内容	先輩から学ぶ(先輩による体験報告会)	予習	インターンシップの体験過程を推測する。	復習	先輩からの学びを整理する。
	第8回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第9回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第10回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第11回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第12回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第13回	内容	インターンシップ実習報告会準備	予習	報告会の内容を考える。	復習	報告会の発表内容を確認する。
	第14回	内容	インターンシップ実習報告会②(受講生の発表)	予習	報告会の練習をする。	復習	報告会を振り返り学びを深める。
	第15回	内容	インターンシップ実習報告会②(講評)	予習	報告会の練習をする。	復習	報告会を振り返り学びを深める。
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	インターンシップ実習と発表の講評をおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：(○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(20%)、実技(80%)						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	授業時に必要に応じて随時紹介する。						
補足事項							

科目名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	きたの いう 北野・伊藤
ナバリングコード	CAE3213	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心とした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の2本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。宿題として、毎回「気づきノート」の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。						
到達目標	1. 企業の職種、業種を理解している。 2. 企業の人材採用方針について理解している。 3. 社会人としてのマナーやTPOを知り、企業社会と働き方を認識している。						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科(2, 3, 4)						
授業計画	第1回	内容	学長講話	予習	シラバスを読んでおくこと。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第2回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第3回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第4回	内容	業界・企業研究①	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。小レポート提出。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第5回	内容	業界・企業研究②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第6回	内容	業界・企業研究③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第7回	内容	SPI	予習	SPIについて調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第8回	内容	業界・企業研究④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
第9回	内容	業界・企業研究⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第10回	内容	業界・企業研究⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第11回	内容	社会人としてのマナー①	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第12回	内容	社会人としてのマナー②	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第13回	内容	社会人としてのマナー③	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第14回	内容	社会人としてのマナー④	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第15回	内容	社会人としてのマナー⑤	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題(気づきノートの作成)などを通じて学習内容の理解増進を図ります。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験( %)、レポート・課題(90%) 作品・発表( %)、実技( %)、授業態度【課題提出状況】(10%)						
教科書	特にしてしません。						
参考文献	特にありません。						

補足事項

毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎回は試験のつもりで頑張ってください。